

# 今年もやっぺヨ! シリヒカリ作り

自家天然繁殖だぞ!  
平家ポタル

## 外副長新聞

足踏み脱穀機は、準備万端！今年は何キロ採れるかな？



2009.2.21  
第20号

【シリヒカリ】？ 初めて見た！ 初めて聞いた人のために、【シリヒカリ】とは、カブ隊M副長が牛久在住の会社の先輩に、M「ボーイスカウトで稲を作りたいから田んぼ貸して」とお願いしたところ、先輩「ホタルがいるから無農薬で作ることになるが良いか？」M「そりゃー、かえって好都合。ぜひお願いします！」てな訳で、ボーイ隊長と休耕田の開墾が始まった。ダッシュ村の「男舞」に負けないような名前を付けねばならぬ。「穂垂米(ホタルマイ)」「カップ米」「キリキリマイ」と考えたが、登録商標(キリキリマイ除く)になっているものがほとんどのため、正式品種はコシヒカリ、ではホタルは尻が光るので「シリヒカリ」と名付けた。稲作を始めて今年で3年目となるが、1年目は稲刈りまでは漕ぎつけたが、結果的にはスズメのエサとなってしまった。去年は、作付けを倍の50平米に拡張し、脱穀・精米までたどり着き、精米で28<sup>キ</sup>収穫できた。その貴重な【シリヒカリ】は、協力した関係者(3軒)で山分けとなった。味はそれはそれは甘みがあり、香りも良く、農家の子せがれの3名も驚くおいしさであった。

### 2009稲作年間スケジュール

ビーバー軍団で泥んこ作戦か？

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
田お越し	■							
代かき		■						
田植え			★					
除草			■	■	■	■	■	■
スズメ対策						■	■	■
ホタル鑑賞								
除草						■	■	■
稲刈り							★	
脱穀								★
精米山分け								★

出穂時期

私は  
チーム・マイナス6%です

**活動への参加者募集中!**  
報酬は、全員の参加回数を基に精米数量を割り、山分けとなります。但し収穫の見込みは約30<sup>キ</sup>です。

今年は、この我々の米作りの話を聞いたボーイ隊長の勤務する会社の、神奈川県在住の同僚がぜひとも参加したいとの申し出があり、モットーは「来るもの拒まず」なので、大歓迎である。当該の人は【元職業野営官】だそう。穴掘りは得意らしく、今年は野営(キャンプ)の回数が増えそうである。でも、一つ大問題が！ 予定では、M副長は5月の連休に【ウッドバッチ研修所】に参加しなければならない。田植えは、ボーイ隊長たちをお願いするしかねっぺかな？！

### イネ科穀類の大害虫 コクゾウムシ [ゾウムシ科]



**形態:** 幼虫は白いウジ状。成虫の口吻は前方に長く突出する。体色は茶褐色～黒褐色。2対の淡色の斑点がある場合が多い。体長は2.9-3.5mm。

**対策:** 早く食べる。必要以上に保管しない。防虫グッズを使う。『米びつ名人』とかの防虫商品もあるが、とうがらしエキスをいれているので『鷹の爪(トウガラシ)』を米びつや袋に入れると意外と効果がある。\*発生すると大量に出てくるぞ！ 犬や猫の力カカリのエサからも発生するようだぞ！

### 未開墾部分の活用 食べられるビオトープ化計画

現在の作付け面積は約50平米であるが、まだ半分が休耕田のまま。これ以上面積を広げると、湧き水(山から染み出す水)では足りないと先輩に言われた。でも、このまま葎(ヨシ)やススキなどの雑草が生えた状態ではホタルの幼虫の成育に好ましくない。米作りはしないとしても、開墾が必要と考え、湿地帯で生育する野菜を植える計画を行うこととした。現段階での候補はクワイ(慈姑)は、オモダカ科の水生多年草で、別名(田草、燕尾草、クワエ)とも言うらしい。「芽が出る」縁起の良い食物として、煮物にしておせち料理で食べられる習慣があるそうだ。

